

## 回覧

ホームページ

[http://www.](http://www.meiho-f.com/)

[meiho-f.com/](http://www.meiho-f.com/)

## 五月祭



一週間前の予報では、天候が心配されましたが、日々変わる天気予報にもかかわらず、希望が見え出し、期待通り晴れてくれました。少し風もあって過ごしやすい陽気になった五月二十日。施設開所を記念するこの行事も二十五回となりました。毎年多くの家族

の皆様にご参加いただきておりますが、今回が最高の参加者数でした。

受付をしていただき、家族会に出席して頂いている間に、軽食やゲームコーナー、施設の生活を写真のスライドショーで、ご覧になって頂いていると、つぐやさんの五平



餅が焼ける匂いがしてきました。東栄町のキャラクターのオニスターも施設内に登場して盛り上げてくれています。そうこうしてきますと昼食の準備も整いました。回を重ねるうちに昼食をお渡しする時の混雑も少なくなりました。入所のご家族を囲んでみなさんおいしそうです、昔から五平餅はご馳走だったのでしようね。皆さんに喜んでいただけました。食事が一段落しましたら、午後の催しの会場作りにも少し時間を頂き食堂を片付けます。今年も、理事長自ら歌舞伎の上演をしていただけることになり、時間の都合で一場面になつてしまいました

が「伽羅先代萩」(めいぼくせんだいはぎ)という演目、目の前で我が子を殺されても、涙も見せなかつた乳人政岡が、周りに人がいなくなり一人きりになつて、我が子千代松の死骸を抱きしめ悲しむ場面、



たちもほぼ初めて見る歌舞伎の生舞台です、三味線と息の合った熱演に驚いておりました。いつも思うのですが、入所の皆さんは生の芝居に慣れているように感じられます。きっと

皆さんの世代には、実際の芝居に触れる機会が多くあったのか、ある意味では豊かな時代だったのでは無いでしょうか。





鼓衆ですが、コミカルで楽しい演出もあり会場を沸かせてくれます。

毎年楽しみにしている家族の方も多いのではないのでしょうか。

「上を向いて歩こう」「ふるさと」を唄いました、リハビリの時に歌っている曲です、志多らのメンバーの皆さんも一緒に間入ってリードしてくれました。

最後に理事長からのお礼のあいさつをさせてもらうのです



そしてお待ちかねの志多らの皆さんの和太鼓の演奏です。その太鼓の音は、施設の建具を振動でビリビリと響かせます、その迫力に涙ぐまれる入所者も見えました。勇壮な太

が、理事長が間に合わないかもというハプニングはありましたが無事に合いました。今年も皆さんののおかげをもちまして、にぎやかに行うことができました。最後に鬼スター（着ぐるみ）に入って、暑さに耐え頑張ってくれた、二人のボランティアの若者に「本当に疲れ様でした。ありがとうございました。」



皆様のおかげできれいになりました！

四月二十二日の日曜日にやまゆり荘家族会のみなさん、二十九日の昭和の日には天理教のみなさんが、環境美化の草刈り、除草、花の苗の移植、ガラス拭きなどの作業を行ってくださいました。大勢の方で取り掛かるとみるみる作業が進み、大変きれいになりました、もう十年以上も続いている作業奉仕になります、完ペキに当てにしてみました。ありがとうございます。

介護士 看護師を募集しています